

韓国との高校生とのオンライン交流 [R1.11~12月]

11月7日（金）、12月3日（水）の事前学習の後、12月22日（月）15：30～17：00、わたしのみらいゼミ「韓国の高校生とのオンライン交流」を実施しました。参加者は、1～3年生10名で、韓国側は、ウンソン高等学校のシン・ヘジン先生と15人の日本語や日本に関心のある生徒たちでした。ヘジン先生は、かつて香川県の国際交流員として勤務したこともあり、本校との交流は5回目です。昨年度に引き続き、事前に自己紹介映像を撮影し、それを交換することから交流が始まりました。その後、手紙（日本語・韓国語）の交換を行い、当日は、3つのグループに分かれオンライン交流を行いました。リアルタイムでの交流に、生徒たちは、最初は緊張気味でしたが、日本語、韓国語に、英語やジェスチャーを交えて、活発に意思疎通することができました。

生徒の活動の様子を見ていると、やはり、「伝えたい」「知りたい」という気持ちがコミュニケーションを円滑にすることや、このような交流を高校生の時に経験することの大切さを再認識しました。



12/3（水）
送られてきた自己紹介映像を見て、手紙を書いている様子

12/22（月）
オンライン交流の様子



生徒の感想（振り返りシートより抜粋）

- ・大学では第二外国語で韓国語をとりたい。韓国に実際に行ってみたいと思った。韓国語を話せなくても、とても楽しい。チンチャ？（本当？）、カムサハムニダ（ありがとうございます）やジェスチャーなどで乗り切れる。
- ・みんな日本の文化をよく知ってくれているのが嬉しかった。良いものを見て感動したり、好きになったりすることには国なんて関係ないのだと改めて実感した。
- ・翻訳機を使いながらでも、自分の伝えたいことを伝えられた時の喜びはとても素晴らしい。
- ・なかなか外国の言葉を勉強して実践する機会はないだろうから、交流の場に積極的に参加することをお勧めします。

今年度の「わたしのみらいゼミ」はこれで終了。

来年度も、多種多様なゼミが開かれる予定なので、自分の未来探しに行ってみよう。